

先生各位

HCV 検診についてのご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、HCV(C 型肝炎ウイルス)検診におきまして、HCV-RNA 検査の検査方法を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《 変 更 日 》 平成 20 年 4 月 1 日 (火) 受付分より

《 変 更 内 容 》

検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
HCV 検診 HCV 核酸増幅検査	検査方法	RT-PCR 法 (リアルタイム PCR 法)	RT-PCR 法
	検体量	血清 2.1 mL	血清 0.8 mL
	容 器	Y4 (5.0mL) or Y3 (3.5mL)	Y3 (3.5mL)
	検出感度	Y4 容器 : < 1.1LogIU / mL *1 (検査コード 7062 と同等) Y3 容器 : < 1.5LogIU / mL *1 (従来法とほぼ同等)	1.7LogIU / mL

*1 それぞれ 1.1、1.5LogIU / mL 未満の低濃度試料においても HCV に対して特異的な増幅反応シグナルを検出する場合があります、この場合においては「陽性」判定にて報告いたします。

《容器について》 必要検体量が多い為、Y4 容器 (5.0mL) を標準容器と致します。
しかし、引き続き Y3 容器 (3.5mL) での出検を希望される場合は、別途必要検体量の少ない方法での対応をさせていただきます。その場合、検出感度は従来の方法とほぼ同等となります。
ご希望の検体採取量と検出感度によって、採取容器をご選択ください。提出されました容器によって検査法を選択して実施いたします。

報 告 形 態 従来通りの「陽性」「陰性」の定性値報告となります。

そ の 他 検査フローや依頼コードに変更はありません。

《Y4 容器の形状および内容》

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto 10px auto;"> Y 4 </div> 	内 容	凝固促進剤 分離剤
	採取量	5 mL
	容器の貯蔵方法 有効期間	室温 1年
	適用検査項目と採取上の注意点	
<p>HCV-RNA</p> <p>血液 5mL を採取し、5～6 回ほど静かに転倒混和したのち、室温にて 30～60 分間静置します。凝固完了後遠心分離し、そのまま凍結保存してください。</p> <p>他項目との重複依頼はさけてください。</p>		